

渡辺大三 NEWS



●発行 市議会会派 リベラル保守の会 ●編集 情報公開こがねい/渡辺大三事務所
〒184-0012 小金井市中町 3-25-10-201 FAX 042-381-5074

watanabedaizou@gmail.com <https://twitter.com/watanabedaizou/>

<https://www.facebook.com/daizou.watanabe.5>

6月定例議会報告

「福祉会館の緊急仮移転に全力を傾注することを求める決議」を賛成多数で可決

昭和 42 年に建設された小金井市福祉会館(中町 4 丁目)は、平成 22 年度に実施した耐震調査の結果、耐震強度不足が著しく、一部に崩壊の危険性が指摘されています。しかし、いまだに緊急仮移転は実施されておられません。稲葉市長は緊急仮移転を行わない方針でしたが、市民や、私を含む一部議員からの厳しい指摘を受けて、去る 3 月定例議会において、方針を変更し、緊急仮移転等を実施する考えを表明しました。

しかし、6 月定例議会においては、具体的な緊急仮移転の方法は示されず、関連補正予算も提出さ

れませんでした。そこで、私は「決議」を起草し、他の会派にもご協力いただいて、共同提案しました。

決議案は、賛成 13 反対 10 で可決されました。賛成=リベラル保守の会(渡辺大・百瀬) 共産党(森戸・板倉・関根・水上) 生活者ネットワーク(田頭・林) 民主党(鈴木・岸田) 緑・市民自治(片山) 市民会議(斉藤) こがおも(白井)。反対=自民党(中根・遠藤・中山・湯沢) 公明党(宮下・紀・渡辺ふ・小林) 改革連合(五十嵐) 自由民主(露口)。

このような市民の人命に関わる決議に対して、反対する議員がいるのは驚きです。

議員提案「福祉会館建設に向けた市民検討委員会」設置条例案を反対多数で否決

稲葉市長は、新・福祉会館の建設に向けた市民検討委員会は設置しない方針でした。しかし、市民や、私を含む一部議員からの厳しい指摘を受けて、6 月定例議会において方針を変更し、検討委員会を設置する方向性を表明しました。

市議会では、市民が提出した「陳情書」を賛成 21 反対 2 で採択しました。賛成=リベラル保守の会(渡辺大・百瀬) 自民党(中根・遠藤・中山・湯沢) 共産党(森戸・板倉・関根・水上) 公明党(宮下・紀・渡辺ふ・小林) 生活者ネットワーク(田頭・林) 改革連合(五十嵐) 緑・市民自治(片山) 市民会議(斉藤) こがおも(白井) 自由民主(露口)。反対=民主党

(鈴木・岸田)。

しかし、市議会は、私が起草し、他の会派にもご協力いただいて共同提案した「小金井市福祉会館建設計画及び基本設計策定市民検討委員会設置条例」を、賛成 11 反対 12 の 1 票差で否決しました。賛成=リベラル保守の会(渡辺大・百瀬) 共産党(森戸・板倉・関根・水上) 生活者ネットワーク(田頭・林) 緑・市民自治(片山) 市民会議(斉藤) こがおも(白井)。反対=自民党(中根・遠藤・中山・湯沢) 公明党(宮下・紀・渡辺ふ・小林) 民主党(鈴木・岸田) 改革連合(五十嵐) 自由民主(露口)。

稲葉市長が議会に配布した「検討委員会設置要

綱(案)は、検討委員会に新・福祉会館の建設場所を審議し、答申する機能を与えないという、非常に問題が多い内容です。私どもが提出した設置条例案は、建設場所などの諸条件を審議・答申していただく内容でした。現在、稲葉市長が建設場所として考えている「第二庁舎北駐車場用地+本町暫定庁舎用地」は、西側に隣接している高層マンションが、

耐震調査の結果、耐震強度不足となっています。大震災の際には上層階が東西方向に崩れ落ちる危険性も指摘されています。そのような場所に新・福祉会館を建てるのは不適切であり、立地も含めて、市民参加で議論を深める必要があると私は思います。

9月定例議会報告

稲葉市長、「危険な敷地」への建設に執着

6月定例議会における「福祉会館」問題の動きは上記の通りです。現在開会されている9月定例議会に、稲葉市長は、市民検討委員会設置の補正予算案を提案しました。

しかし、驚いたことに、その内容は、①委員会には答申する権限は与えない(単に意見を述べるだけ)、②しかも意見の述べるができるのは導入機能等に限定され、立地や建築方法に関して意見を述べるができるとの明文規定は設けない、③現在、稲葉市長が建設場所に考えている「第二庁舎北駐車場用地+本町暫定庁舎用地」は、西側に隣接している高層マンションが、耐震調査の結果、耐震強度不足となっており、解消のメドは全然立っていないが、その敷地への建設を前提に市民検討委員会を設置する、というものでした。

そのような市民検討委員会の設置は、市民参加

条例の趣旨に反するものであり、また、市民の皆様の人命にも関わる問題です。また、そもそも、12月に市長選があるのに、立候補するのかもしれないのかも明らかにしていない稲葉市長が、次の市長の手足をしばる委員会を設置するのは拙速であると同時に極めて不適切です。

そこで私は、きちんとした市民検討委員会にすべきだと考え、「小金井市福祉会館建設計画及び基本設計策定市民検討委員会設置条例」を起草。他会派に共同提案を呼びかけました。9月25日に議員提案すべく、調整を進めております。

また、現在の福祉会館が来年3月で閉鎖される件については、当面の代替施設を望む声が多く、利用者に迷惑をかけない対応も急務です。市長は「出ていけ」という姿勢ですが、あまりにお粗末な対応と言わざるをえません。

渡辺大三のプロフィール

◎1966(昭和41)年、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市・宮城県仙台市・山形県山形市を経て、小学校3年生のときに小金井市貫井北町3丁目に転入(現在は中町3丁目に在住)。◎小金井市立本町小学校(本町)、小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部政治学科卒業。

◎株式会社河北新報社(本社=仙台市)に新聞記者として就職、編集局配属。同社退職後、小金井市に戻り地元衆議院議員の私設秘書を2年間務める。

◎1993(平成5)年、26歳で小金井市議選に初当選。以降、6期連続当選(直近3回の選挙は無所属で立候補し当選)。この間、高額人件費やムダな公共事業などを巡る複数の直接請求署名運動を市民の皆さんと進める。

◎現在=議会関係では、議会運営委員、総務企画委員、行財政改革調査特別委員、広報協議会委員(紙面改革部会リーダー)、十一市競輪事業組合議会副議長、六市競艇事業組合議会議員、所属会派「リベラル保守の会」副幹事長、を務める。

地域では、小金井市商工会参与、小金井市商工会総代、貫井北町商工振興会事務局長、中町親愛会相談役、中央大学学員会(同窓会)小金井支部幹事、東京都立小金井北高等学校同窓会幹事長などを務める。政治関係では、小金井の地域政党「リベラル保守の会」事務局長、東京の地域政党「自由を守る会」事務局長、市政監視団体「情報公開こがねい」共同代表を兼務。

◎趣味=ダイエットと適度な筋トレ、フルート(初心者です)、カラオケ、愛犬ロクスケ♂との小金井散歩、秘湯、料理。

◎身長=178・9cm 体重=69kg前後を変動中。血液型O型。剣道二段。